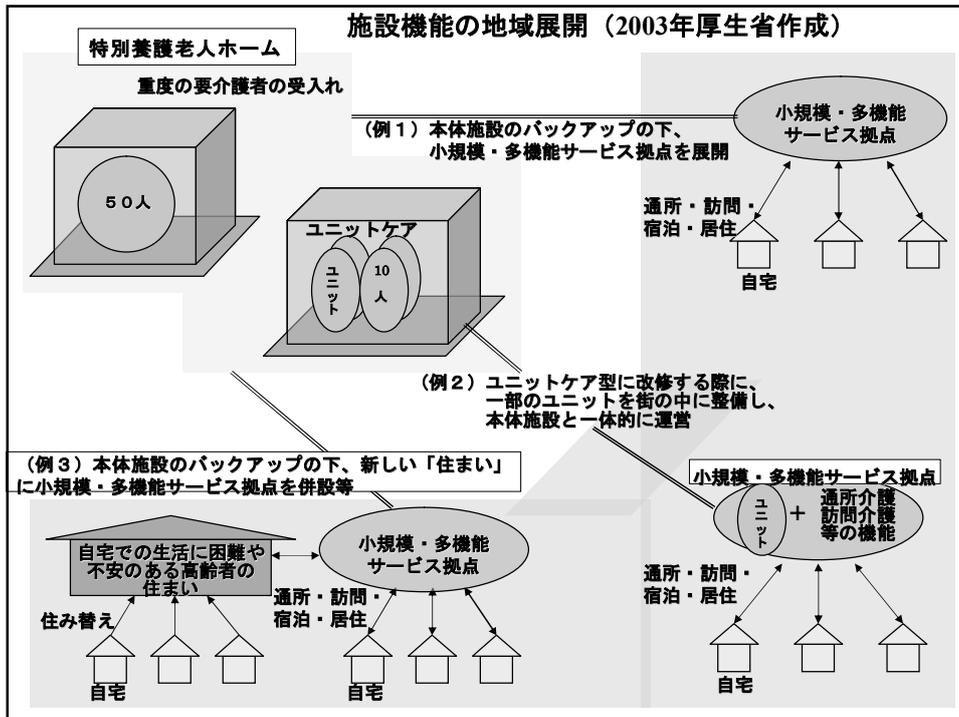


地域で自分らしい生活を安心して送れる社会を
 作るために、福祉施設・在宅福祉は今後どうあるべきか
 ～包括ケアの視点から～



高齢者総合ケアセンターこぶし園 総合施設長 小山 剛



1K~1LDK
19.60m²~40.50m²

販売
価格
(税込)

1,900

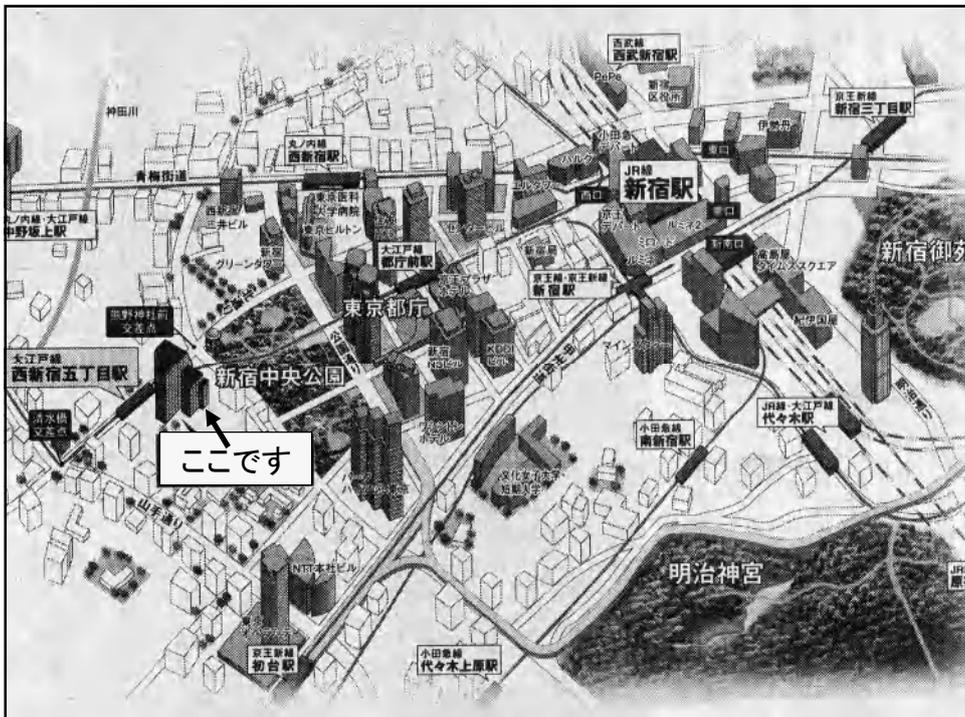
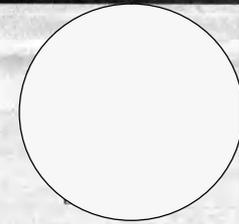
万円
より

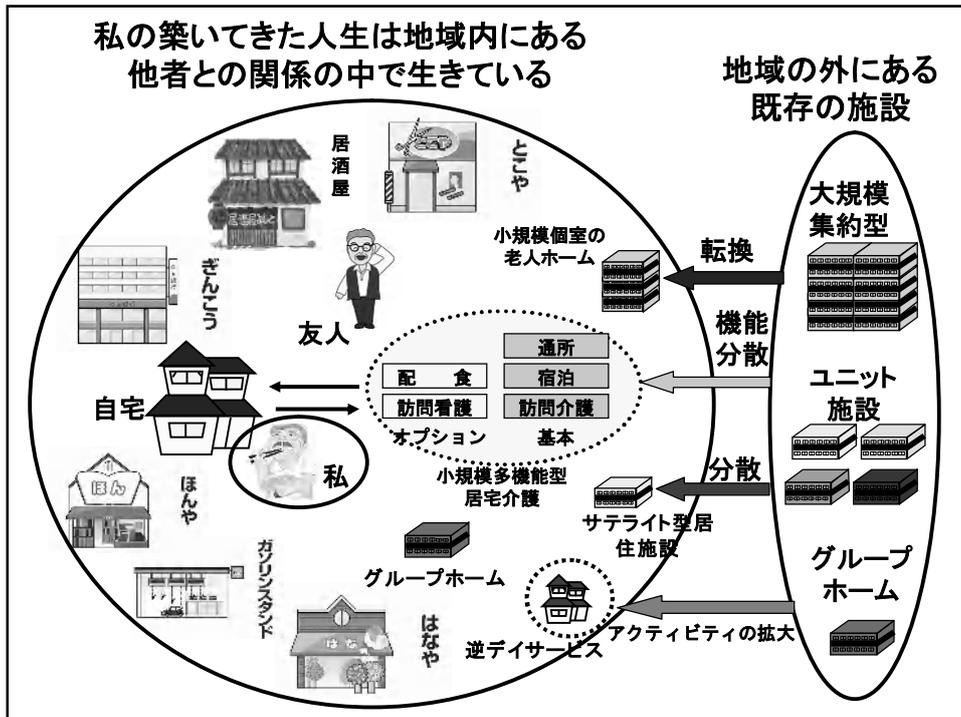
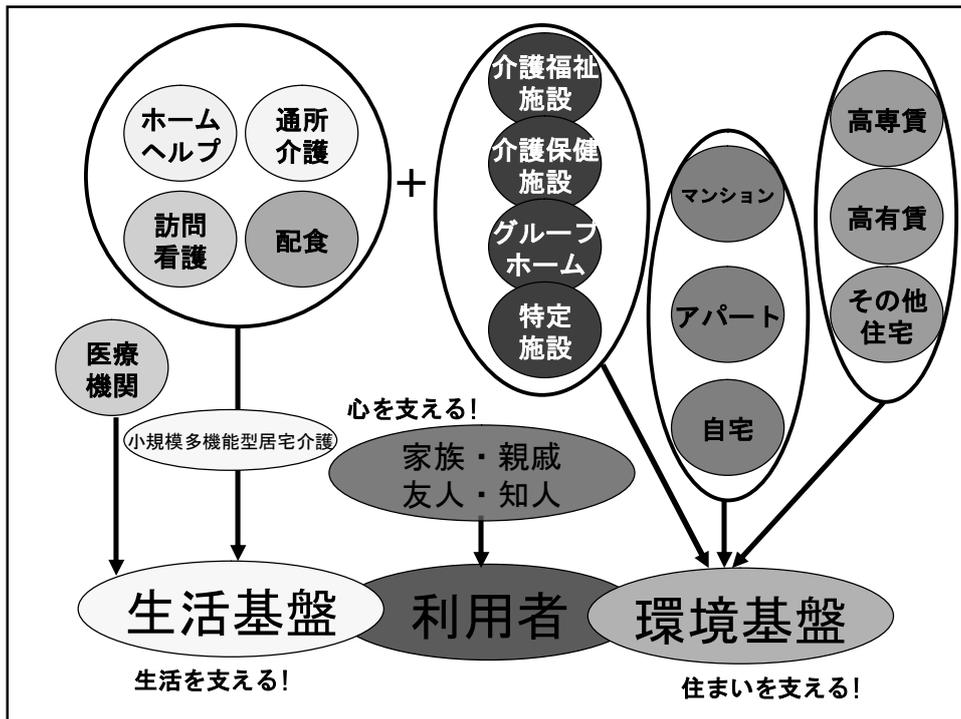
クト。

多彩な都市居住に応える、
全36タイプ 46バリエーションのプランニング。

1LDK 専有面積 40.50m²
F type 凸バルコニー面積 / 4.85m²

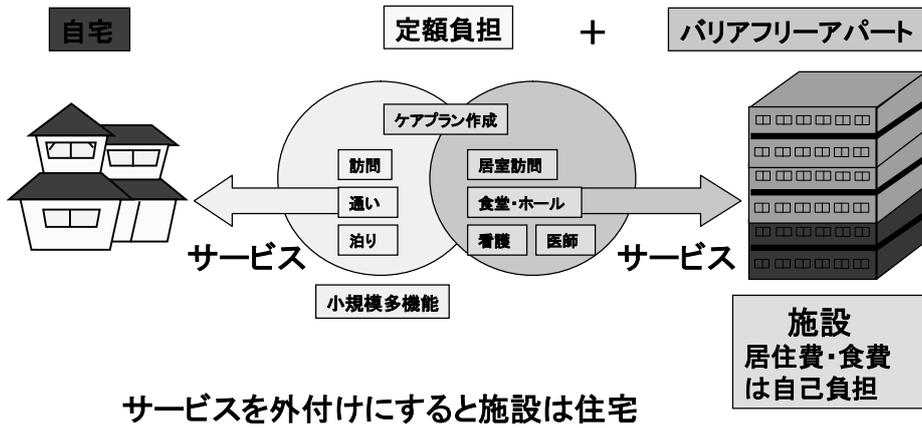
1K 専有面積 28.49m²
Xtype 凸バルコニー面積 / 15.12m²



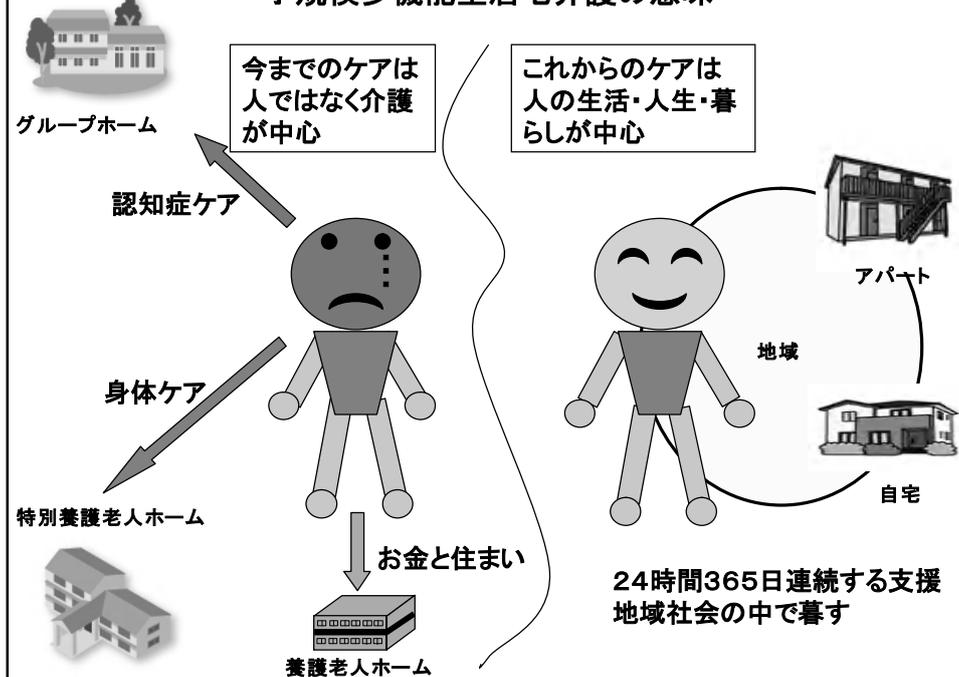


2006年改正

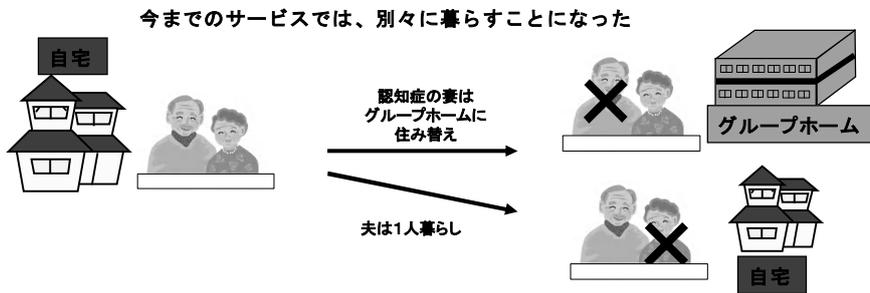
施設も小規模も介護は定額負担 施設も在宅も居住費・食費は自己負担



小規模多機能型居宅介護の意味



認知症になったとき



高齢世帯が急増している中で、夫婦を別々にケアすることは必ずしも良い結果ではない

妻は知らない社会（グループホーム）に移動することで益々混乱

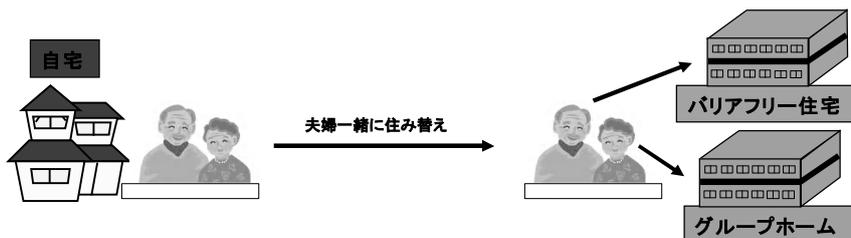
夫は役割喪失の中で孤立してしまう

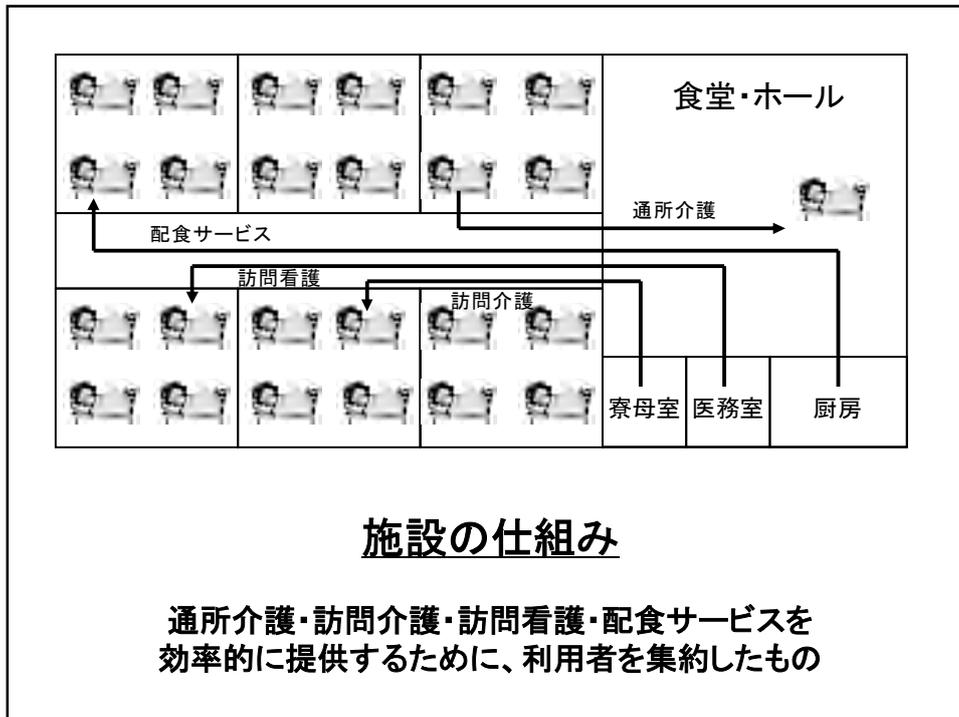
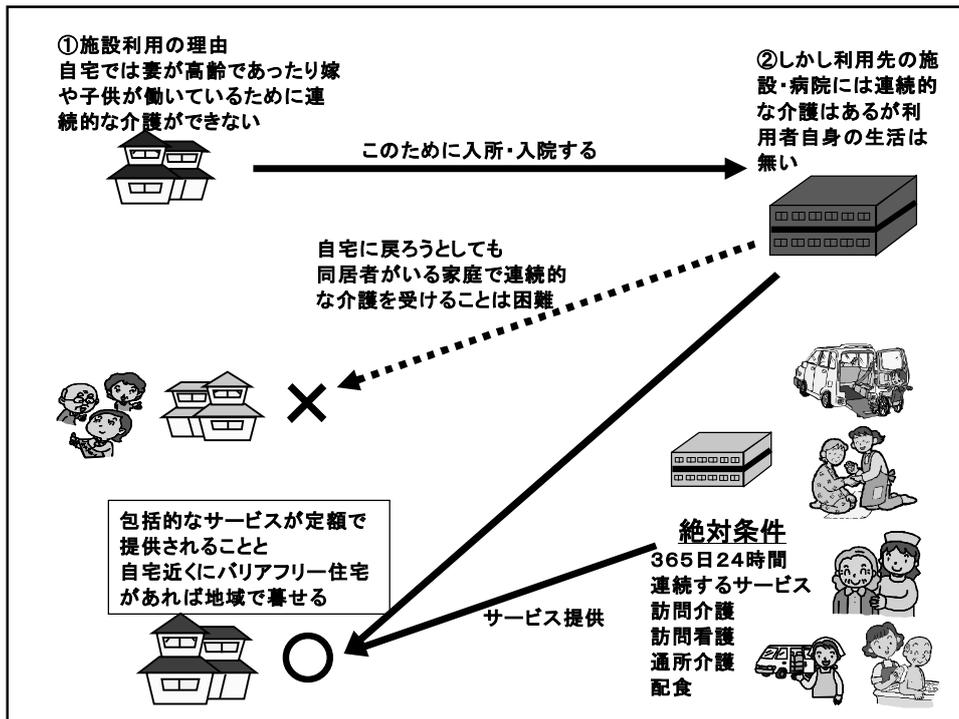
新たな認知症ケアの提案

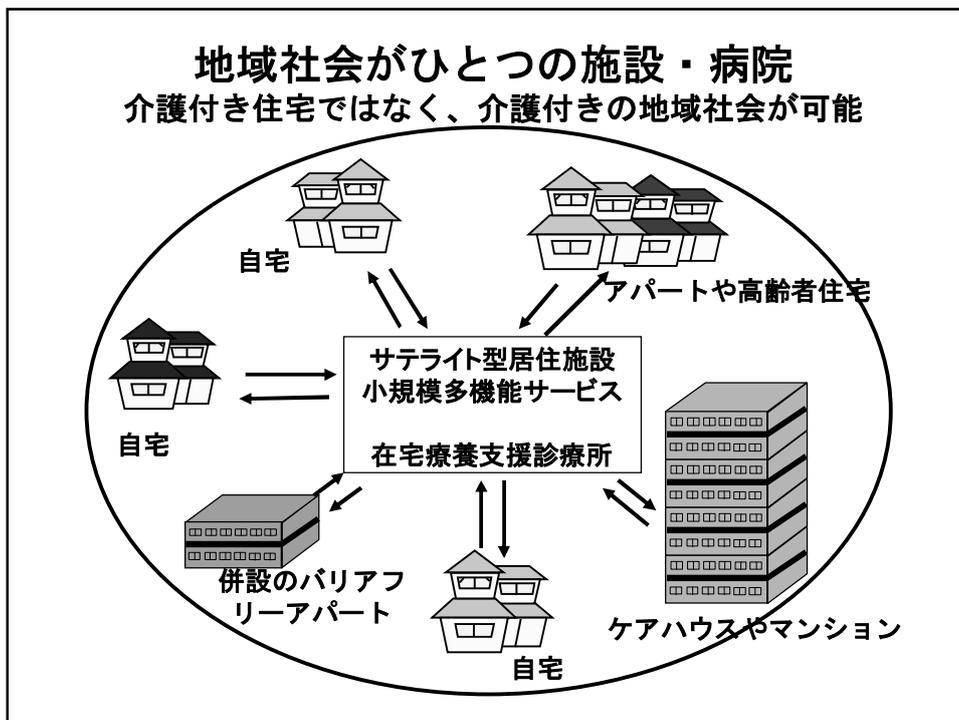
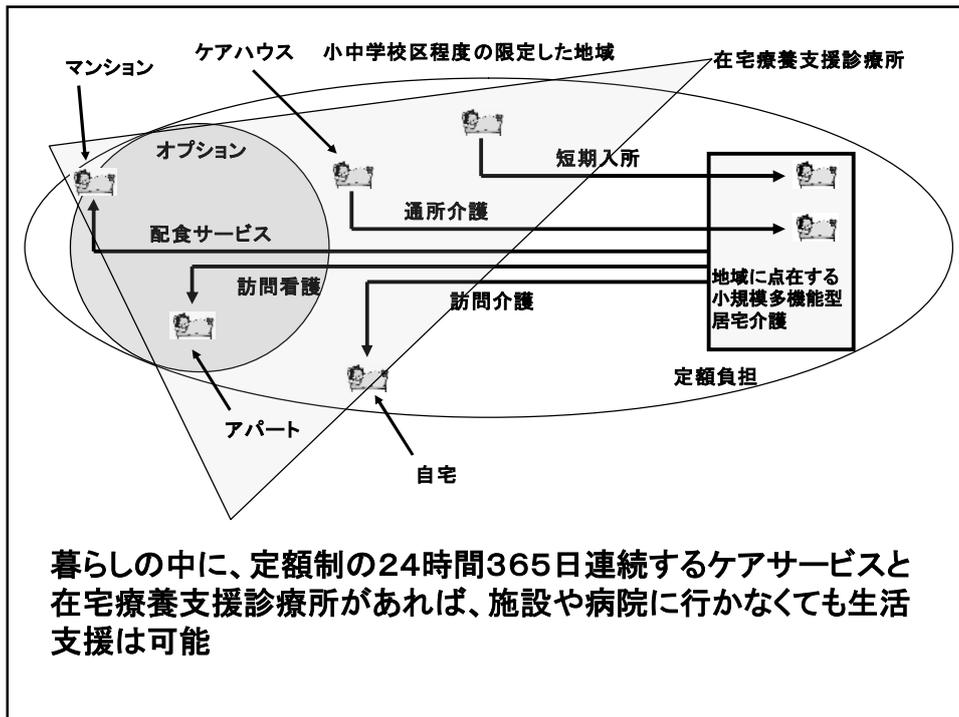
夫婦が共に住み替える選択肢を提示することが重要

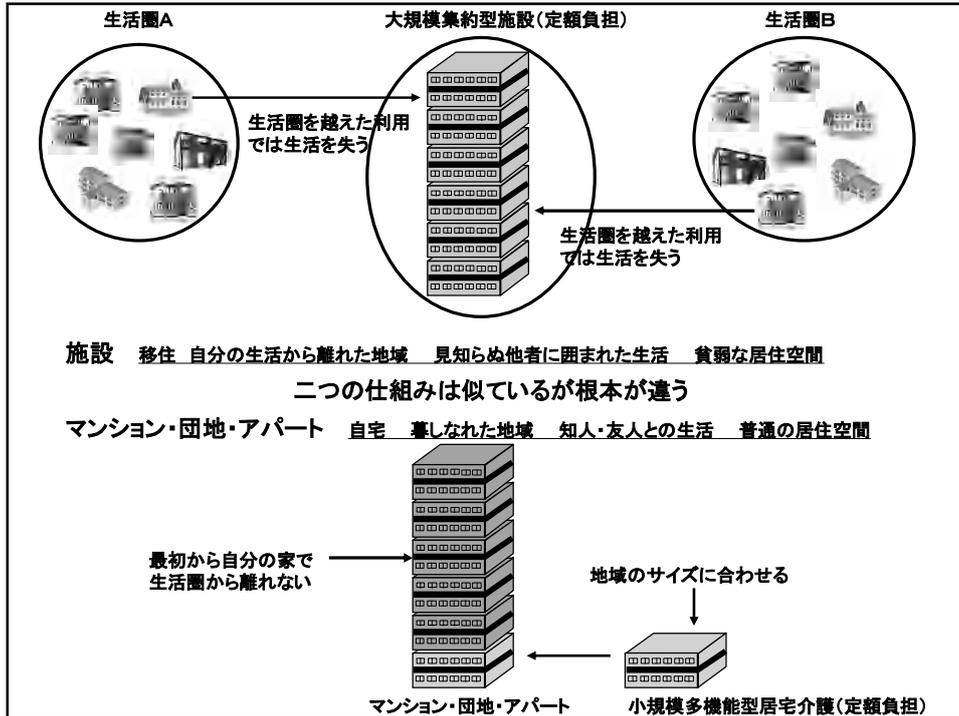
妻の介護はグループホームで提供し、夫は併設・隣接のバリアフリー住宅（在宅支援型住宅）で生活することで、認知症の妻には生活の安心を、夫には役割を、そして介護の責任はグループホームが担当する

加えて近隣に小規模多機能型居宅介護サービスがあれば、夫が要介護状態になってもそこでの生活は可能になり、夫婦の生活を最後まで保障できる









生活支援の原則

食事は365日3食休まない

ケアは24時間365日連続する

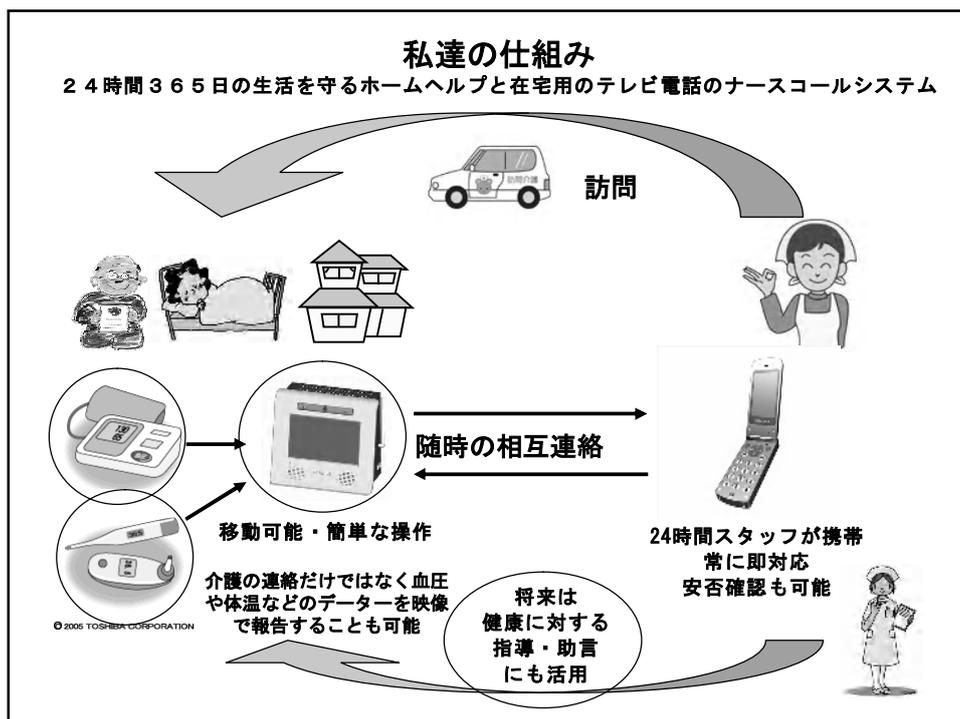
在宅生活の基本① 3食365日の配食

一般1500円/日
低所得者990円/日



在宅の生活支援における最低条件② 地域社会の24時間ケアを守る訪問介護





社会福祉法人の使命

使命(mission)はCS

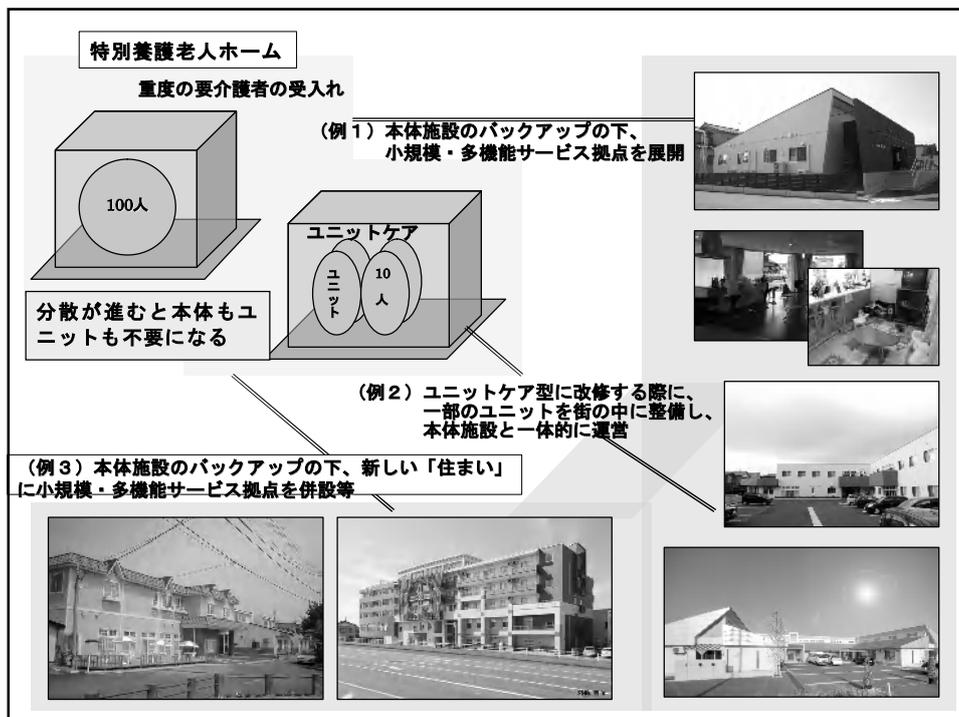
Customer Satisfaction 顧客の満足

Community Satisfaction 地域社会の満足

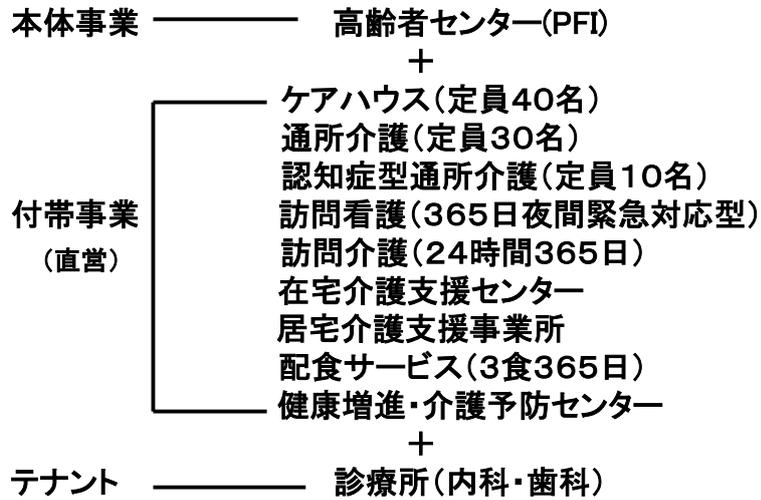
非課税団体の役割を明確にすることが重要

高齢者総合ケアセンターこぶし園の事例

- 在宅ケアのベースとしてショートステイを80ベッド整備
- フルタイム 24時間365日連続するサービスの整備
- フルサービス 短期入所 訪問介護 配食サービス
訪問看護 通所介護 介護予防
グループホーム 小規模多機能 住宅
- サポートセンターの創設と拡大
- 民間事業者との共同(ハードとソフトの分担)
- 施設の分散と地域包括ケアシステムの構築

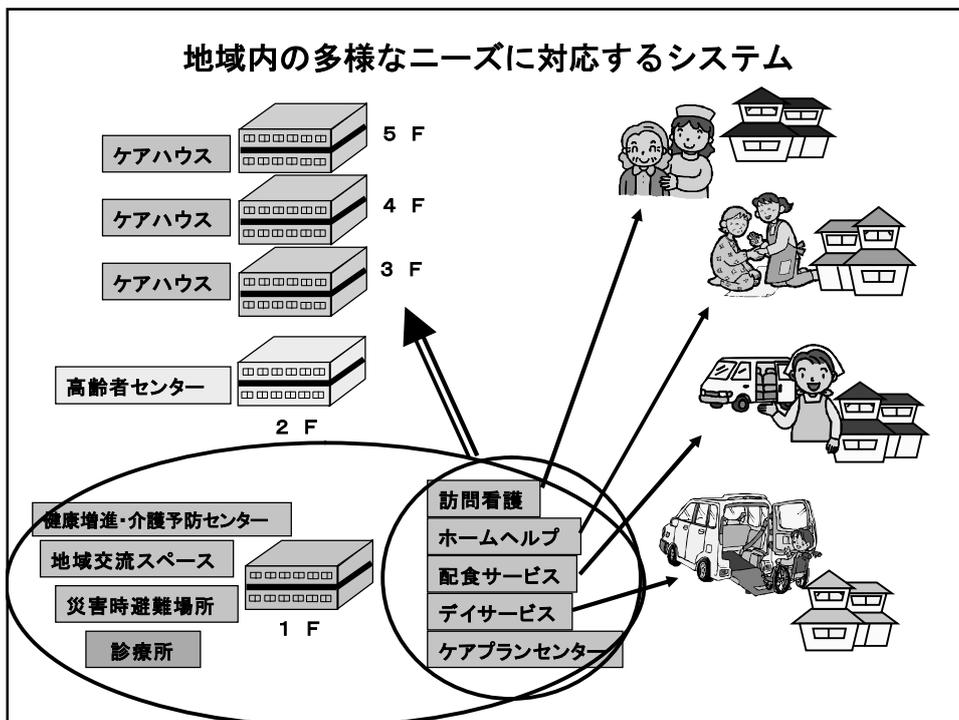
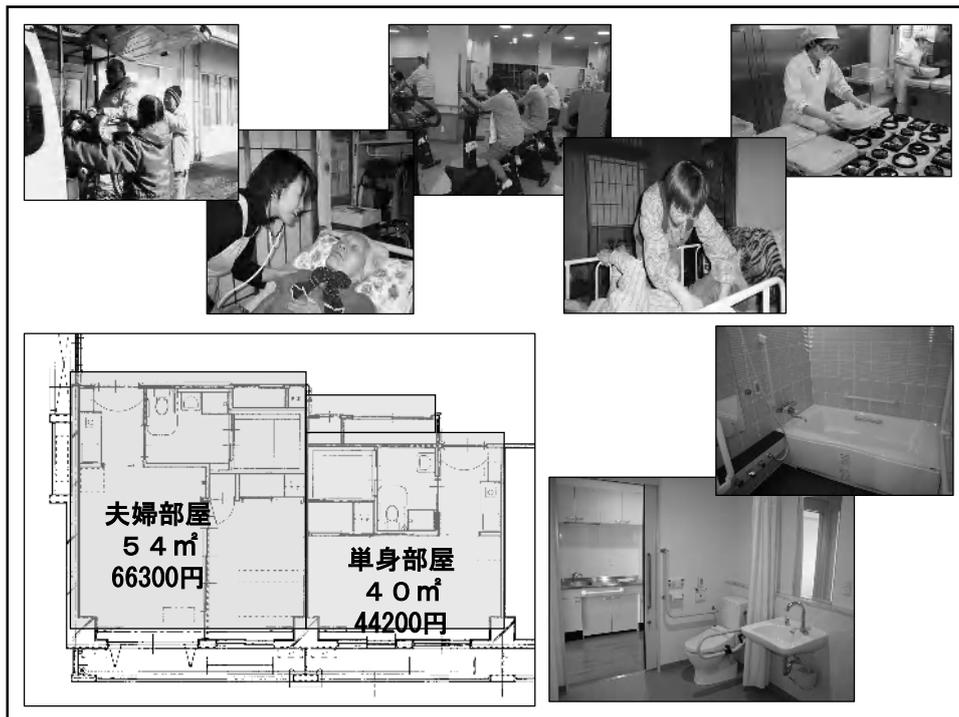


健康の駅ながおか

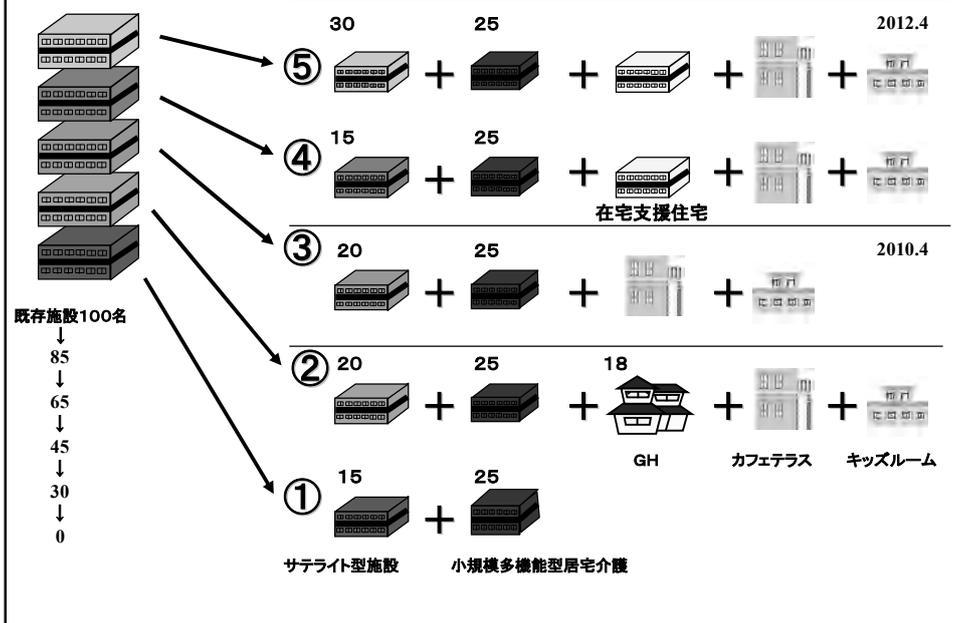


ポイント 市の事業をベースとしているため市所有の土地が無償貸与





施設分散と地域支援計画(地域全体を支えるシステム)



サポートセンター美沢

特別養護老人ホーム美沢 15名
 短期入所生活介護美沢 3名
 小規模多機能型居宅介護事業所 25名
 +
 配食サービス

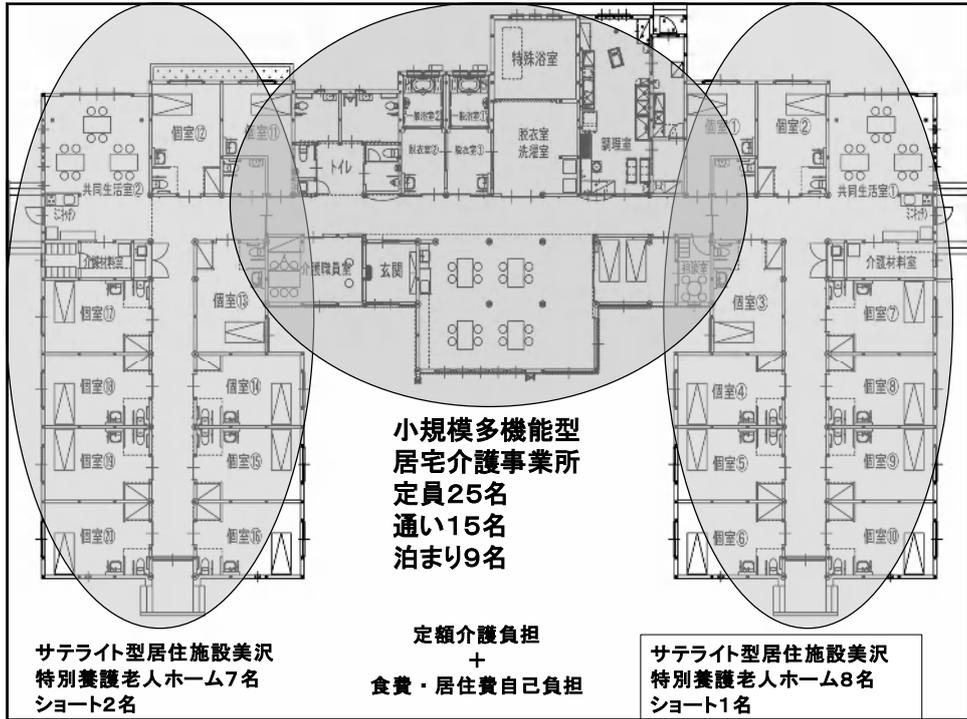


施設の中も、周辺の地域も両方ケアするシステム(Swedenと同じ)

いずれも地域社会の要介護者を支えるフルタイム・定額サービス

★ポイント

土地・建物は全て民間所有
 利用者も事業者も賃貸で利用
 ハードに対する公的資金は0円
 但し低所得者には住宅保障が必要





小規模多機能型の
居宅選択とサテライ
ト型居住施設の地
域復帰・住環境向上
の目的は

馴染みの暮らしを続
ける(復帰する)とい
う意味で同じ仕組み



↑
現在

平均要介護度4.3の
生活環境が変化

→
いままで

サポートセンター千手

特別養護老人ホーム 20名
認知症グループホーム 18名
小規模多機能型居宅介護事業所 25
名
カフェテラス・キッズルーム

★ポイント
土地・建物は全て民間所有
利用者も事業者も賃貸で利用
ハードに対する公的資金は交付金
但し低所得者には住宅保障が必要





サポートセンター摂田屋(仮称)

特別養護老人ホーム 20名

小規模多機能型居宅介護事業
定員25名・通い15名・泊まり6名

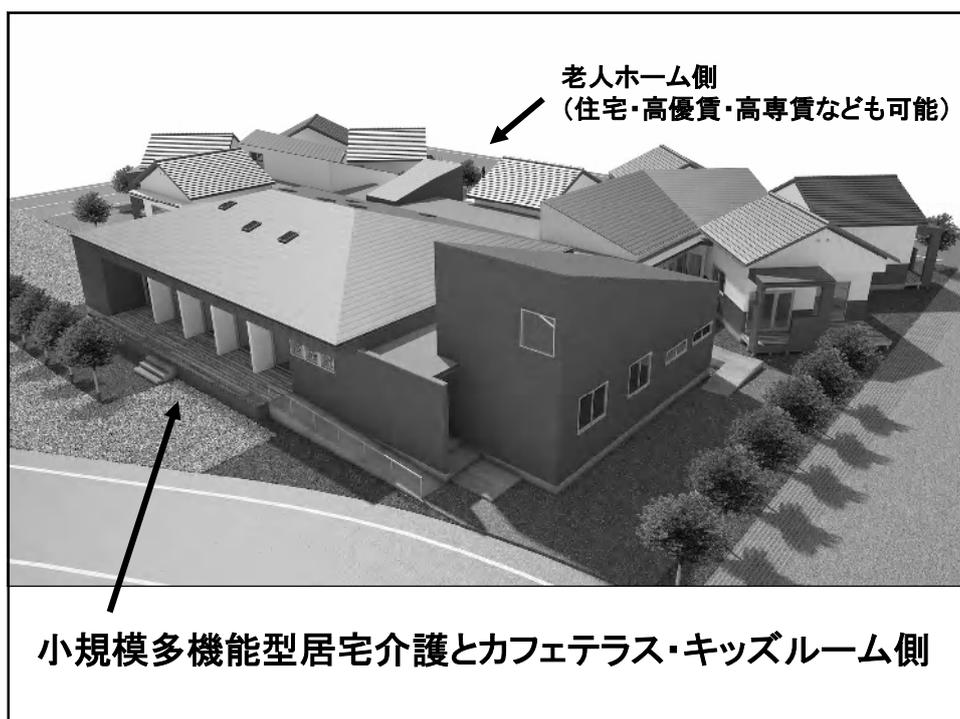
カフェテラス&キッズルーム

★ポイント

土地・建物は全て民間所有
利用者も事業者も賃貸で利用
ハードに対する公的資金は交付金
但し低所得者には住宅保障が必要



各室それぞれに玄関とベランダを設置



前記した住環境整備と
ケア体制の分離の事例は
都市部でも可能

低所得者に対する保障と
混合介護の整理をすることが
都市部の将来を作る

社会福祉法人 長岡福祉協会
福祉プラザ
さくら川

特別養護老人ホーム 新橋さくらの園
 介護老人保健施設 新橋ばらの園
 知的障害者更生施設 新橋はつつ太陽
 居宅介護支援事業所 さくら川

〒105-0004 東京都港区新橋 6 丁目 19-2
 電話：03-3433-0180 ファクス：03-3433-7320
 e-mail：info@fukushiplazasakuragawa.com



～私たちの基本理念～
 「自分や家族、友人が利用したいと思うサービスの提供」という生活者の視点を基本理念としています。

ポイント
 港区が旧小学校跡地が低額で提供、区単独補助で支援

サポートセンター広沢（仮称）

認知症対応型起用道生活介護 9名

小規模多機能型居宅介護事業

定員25名・通い15名・泊まり6名

カフェテラス & キッズルーム

ポイント

埼玉県和光市が市所有の土地を無償貸与で支援
 隣接地にある都市機構の高齢化した団地群を支える

ポイント

- ・1人暮らし、老齡世帯は急増しています
- ・子供たちは働いているか、遠距離で介護はできません
- ・高額負担の施設整備は、財源確保が困難であるとともに高齢者自身のニーズにあいません
- ・介護保険は救済ではなく利用の仕組みです
- ・地域密着型サービスの創設は、対象者をそれぞれの住民に限定した、住民ニーズに即したサービスです
- ・その目的は施設を利用しなくとも地域社会での生活を支えられるものです
- ・このために、施設と同様に24時間365日の安心と、利用負担が定額制が必要ですし、医療との連携も不可欠です
- ・またハードについてもリフォームやレンタルが可能ですから従来施設のような負担は不要ですし、普通の住環境が可能です
- ・加えて施設の地域分散であるサテライト型居住施設をあわせて展開すれば、従来施設の建替え費用も不要になります

職員体制

資格(重複)

総合施設長	1	介護支援専門員	95
施設長	1	社会福祉士	34
事務員	23	社会福祉士主事	113
生活相談員	38	介護福祉士	205
栄養士	3	ホームヘルパー	124
調理師	24	保健師	1
医師	1	看護師	21
看護師	41	准看護師	20
PT	2	機能訓練士	2
OT	2	作業訓練士	2
介護	218	管理栄養士	2
施設管理	6	栄養士	6
その他	6	調理師	21
計	363		

柔軟なケアを効果的に提供するためには資格保持が原則

★初任時の給与例(サポートセンター美沢の場合)

新卒(20歳)の介護福祉士では181,960円(夜勤無)~216,272円(夜勤有)

基本給166,560円+特技手当6,400円+(準夜4,230円・深夜4,348円×4回)

+処遇改善手当9000円

長岡市 高卒140,100円 短大卒福祉職152,800円

新卒(22歳)の社会福祉士では189,360円(夜勤無)~224,272円(夜勤有)

基本給176,800円+特技手当8,960円+(準夜4,313円・深夜4,415円×4回)

+処遇改善手当3600円

※中途採用者には勤務経験加算があります

長岡市と国家公務員Ⅱ種の大学卒172,200円、新潟県職大学卒173,800(2008年)

賞与実績 4ヶ月/年

通勤手当(上限21,000円)、家族手当(1人目10,000円、2人目以降は人数×5,000円)、

住宅手当(上限10,000円)、時間外手当などがあります

勤務時間は7.5時間/日、週労働時間37.5時間、休日は年間121日+年休、育児や

介護休業も充実

★施設内保育所(0歳~6歳未満対象)2ヶ所(深沢と西長岡)有り、安心です

★各種スキルアップ研修や海外研修(SwedenのNybro市と提携)有り、成長できます